地域とつながる

岡崎市民病院

救急医療と高度医療で地域を守ります

院長あいさつ

岡崎市民病院は岡崎市と幸田町で構成される愛知県西三河南部東医療圏(人口約43万人)の地域医療を支える3次救急・総合病院です。当院のルーツは愛知県で2番目に開設された病院である愛知県公立病院岡崎支病院(1878年開設)にたどり着き、現在まで140年以上の歴史があります。

近年は年間9,000件前後の救急搬送実績を誇る救急医療、複数領域の“がん”に対する手術支援ロボットの活用やTAVI(経カテーテル大動脈弁植え込み術)などの高度医療、さらには地域周産期母子医療センターや認知症疾患医療センターなども併設しています。当院はこのようなオールマイティな機能を持つ地域中核病院として躍動し、病院ビジョンである“地域から信頼され選ばれるエクセレント・ホスピタル”であり続けられるようにとスタッフが一丸となり励んでおります。今回はその概要を紹介させていただきます。

ロゴマーク

岡崎市民病院
Okazaki City Hospital

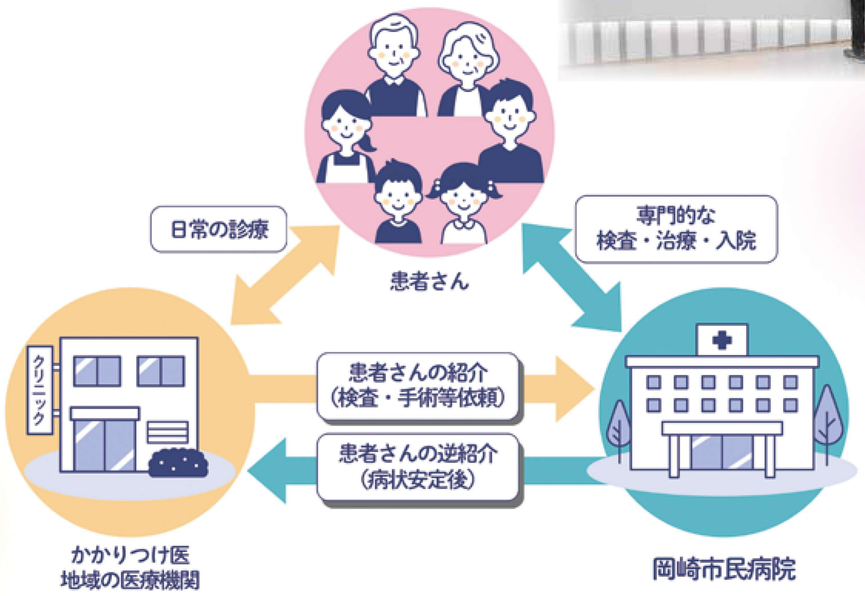
「無限」のマークが重なり合い、岡崎市の「桜」の5弁や
どんな人でも受け止める両手を広げた人が見えてくるロゴマーク。

マスコットキャラクター

岡崎市民病院公式
マスコットキャラクター
OKAMIN

岡崎市民病院のロゴマークの形をイメージした愛らしく、親しみやすいマスコットキャラクターです。

地域医療連携



当院は平成21年に愛知県から「地域医療支援病院」の承認を受けています。岡崎市と幸田町のほぼ全ての医療機関や岡崎市医師会と密に連携し、「かかりつけ医」にあたる地域の医療機関から、精密検査や手術、専門的治療、入院加療などに関してご紹介いただき、状態が落ち着いた段階で再び「かかりつけ医」にその後の治療をお願いするという、地域内の医療の機能分化に努めています。

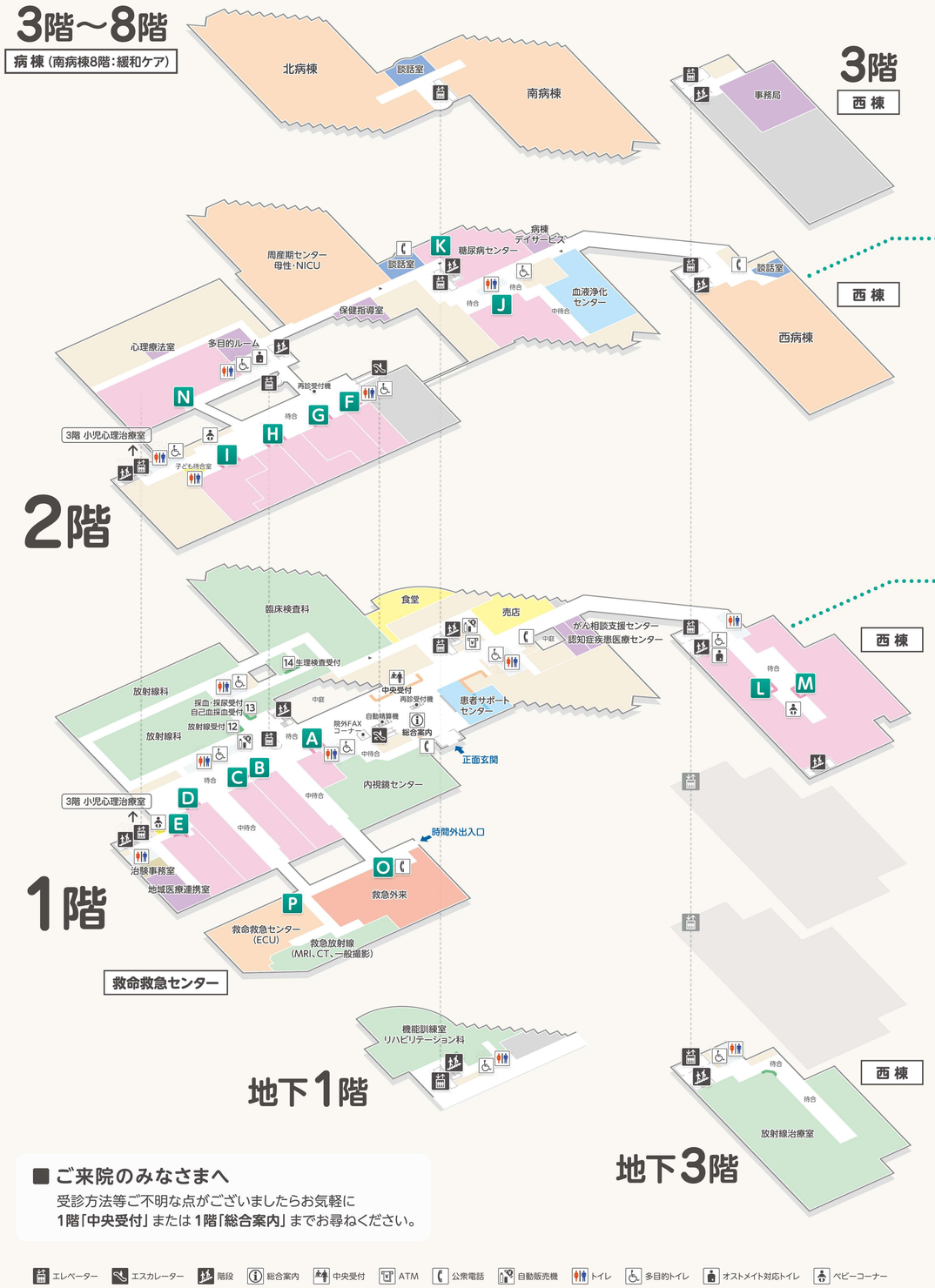
また、当院での治療後に引き続きリハビリなどの入院加療が必要な場合は、他の医療機関へスムーズに転院ができるようサポートしています。

患者サポートセンター

Topics

2024年4月に開設した患者サポートセンターは、入退院に関する相談や支援を始め医療福祉制度の利用に関する相談、病院内の診療科間での円滑な受診調整などを一元的に集約し、相談窓口の一本化を図るための組織です。看護師や社会福祉士、薬剤師、リハビリスタッフなどの専門職がいつでも対応できる、いわゆる「患者さんの何でも相談」としての役割を担っており、がん相談支援センターや認知症疾患医療センターなども併設しています。

館内紹介



2階 外来受付

- F 膠原病内科　麻酔科　腫瘍整形外科
- G 耳鼻咽喉科　頭頸部外科
- H 皮膚科　泌尿器科
- I 小児科　脳神経小児科
- J 眼科　腎臓内科
- K 内分泌・糖尿病内科
- N 乳腺外科　がんサポート外来

1階 外来受付

- A 消化器内科
- B 循環器内科　心臓血管外科　脳神経内科
- C 呼吸器内科　脳神経外科　総合診療科
- D 形成外科　整形外科
- E 歯科口腔外科

救命救急センター 外来受付

- O 救急外来
- P 救急放射線　救命救急センター(ECU)

西棟 外来受付

- L 産婦人科　血液内科　心療精神科
- M 外科　消化器外科　小児外科　呼吸器外科
  外来治療センター　肥満症治療センター

■ ご来院のみなさまへ

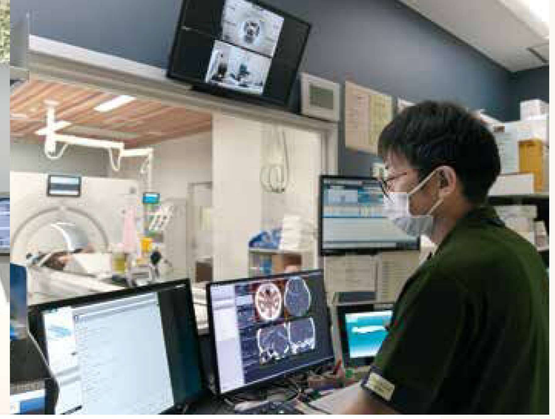
受診方法等ご不明な点がございましたらお気軽に
1階「中央受付」または**1階「総合案内」**までお尋ねください。

エレベーター　エスカレーター　階段　総合案内　中央受付　ATM　公衆電話　自動販売機　トイレ　多目的トイレ　オストメイト対応トイレ　ベビーコーナー

外来

小児科病棟個室

リハビリ庭園



がん医療

精度の高い検査・高性能な治療機器により、がんの診断、治療、緩和ケアまでトータルでサポートしています。

がん診療拠点病院の指定を受けており「あらゆる領域、あらゆるステージ」のがんに対応しており、診断から手術療法・薬物療法・放射線治療の診療機能を有しています。

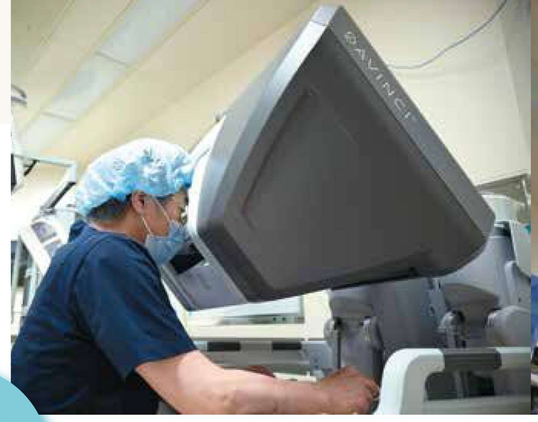
また、がん相談支援、緩和ケアなど手厚いサポート体制も充実しています。手術療法では、開腹手術のほか、患者さんの身体的負担が少ない低侵襲な腹腔鏡手術を行っているほか、手術支援ロボット「ダビンチ」による精緻な手術も消化器領域、呼吸器領域、泌尿器領域、婦人科領域で数多く行っています。

高度な医療と手厚いケアを融合させ、患者さん一人ひとりに合ったオーダーメイドのがん医療を目指しています。

がんゲノム医療

Topics

これまでの手術を基本とした治療とは異なり、患者さんの遺伝子情報を調べることで、将来のがん発症を防いだり、その方に適した治療薬を選定したりすることができる先進的な治療法です。名古屋大学医学部附属病院と連携して「がんゲノム医療連携病院」に指定されており、次世代シークエンサーと呼ばれる解析装置を用いた「がん遺伝子パネル検査」を積極的に行っています。



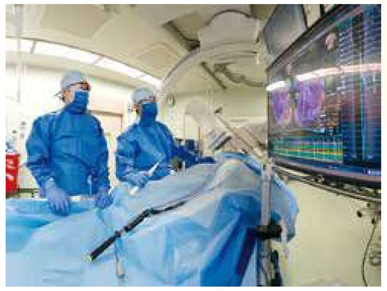
高度医療

先進的な医療機器と医療技術を取り揃え、高度急性期医療の充実と発展を図っています。

手術支援ロボット（ダビンチ）は、前立腺がん、直腸がん、胃がん、肺がん、産婦人科腫瘍などの幅広い疾患に対し、人の手の遥か上を行く綿密で正確な手術を可能にします。

大動脈弁狭窄症に対する先進的な治療法である経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）は、開胸手術より著しく傷が小さく心臓を止めずにできるため、合併症の多い高齢者にも適応できます。

術野を高精細な大型モニターに映し出して手術する外視鏡システム、ミリ単位での精度の高い設置を可能にする人工関節手術支援ロボット、一度の撮影で全身のがんを観察できるPET-CTなどの高度医療機器も取りそろえ、医療の質の向上に努めています。



医療AI

Topics

当院では、2024年から胸部X線とCT検査においてAI診断技術を導入しました。これらの機器は、診断の難易度の高い病変を拾い上げてくれる「医師の第二の目」として働き、画像読影における見落としを著しく減らす効果が期待されます。

救急医療

「最後の砦」となる迅速、適切、高度な医療の提供
急性期医療が必要な患者さんを
診察する第3次救急医療機関です。

「24時間、365日、受け入れ要請を断らない」をテーマに掲げており、その成果として年間9,000台救急車を受け入れています。

救命救急センターは「ER(救急外来)」と「ECU(救命救急センター病棟)」で構成され、各専門診療科の協力の下に運営されています。重症な患者さんは、「集中治療センター(ICU・CCU・HCU)」に収容しています。

またERに隣接して、レントゲン室・CT室・MRI室・内視鏡センターなどが配置され、効率よく検査・処置が行えるようになっています。

ドクターカー・ドクターヘリ

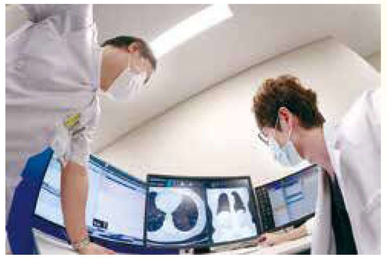
Topics

2006年から平日の昼間にドクターカーを運用し、医師・看護師と救急隊員が協力して現場での医療に努めています。

また、病院敷地内には地上ヘリポートがあり、ドクターヘリを受け入れています。

チーム医療

医師をはじめとする専門職が情報を共有し、
協働して患者さんの治療や
ケアにあたっています。



チーム医療とは、医療に従事する多種多様なメディカルスタッフが各々の高い専門性を活かし、互いに連携・補完し合い、一人の患者さんとその家族の治療やケアに多職種であたることです。

当院のバリューであるハーモニーとリスペクト及び個人とチームの成長を実践し、患者さんとそのご家族に良質な医療を提供させていただきます。

多職種による連携体制

Topics

一人の患者さんに対して主治医だけでなく、様々なメディカルスタッフが連携・協働しチームとしてサポートを行っています。

感染制御チーム	抗菌薬適正使用支援チーム
摂食嚥下栄養サポートチーム	褥瘡管理チーム
糖尿病療養支援チーム	呼吸ケアチーム
認知症サポートチーム	ストロークチーム
腎臓病療養支援チーム	減量手術チーム
心不全サポートチーム	早期離床サポートチーム
排尿自立チーム	緩和ケアチーム

岡崎市民病院の歩み

My Infographic

三河で初めての病院

岡崎市民病院は明治11年に愛知県公立病院（現名古屋大学医学部附属病院）の分院として開設されました。三河初の病院として歩みだし、令和10年に創立150周年を迎えます。約一世紀半にわたり、地域の皆様とともに歩んできた歴史をご紹介させていただきます。

1878
愛知県公立病院岡崎支病院開設
岡崎市亀井町興蓮寺に開設

1948
市立岡崎病院と改称
岡崎市へ譲渡移管され、
市立岡崎病院となる

1950
新築移転
若宮町に新築移転
10科、123床

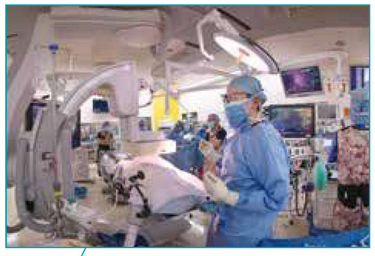
1981
救命救急センター開設
集中治療センター開設
新生児集中治療室開設

1996
災害拠点病院の指定
地域災害医療
センターの指定

1998
岡崎市民病院移転開院
現在地（高隆寺町）に新築移転
23科、650床

2001
地域周産期
母子医療センター
開設

2009
地域医療支援病院の指定



2013
西棟稼働
ハイブリッド手術室稼働
700床

2014
放射線治療開始

2015
救命救急センター棟稼働
715床

2016
認知症疾患
医療センター開設

2019
愛知県がんセンター愛知病院の移管
地域がん診療連携拠点病院の指定
へき地医療拠点病院の指定

2020
がんゲノム医療連携病院の指定
手術支援ロボット稼働
PET-CT装置導入
680床

2021
緩和ケア病棟稼働

岡崎市民病院
Okazaki City Hospital

現在、そして未来へ

2022
第13代院長 小林靖 就任
パーパス及び病院ロゴ作成
41科、680床

岡崎市民病院
Okazaki City Hospital

外来診察日
土・日曜日、国民の祝日、
年末年始（12月29日 ～ 1月3日）を除く毎日

受付時間
一般外来：午前8時00分～午前11時00分

病床数
一般病床：680床

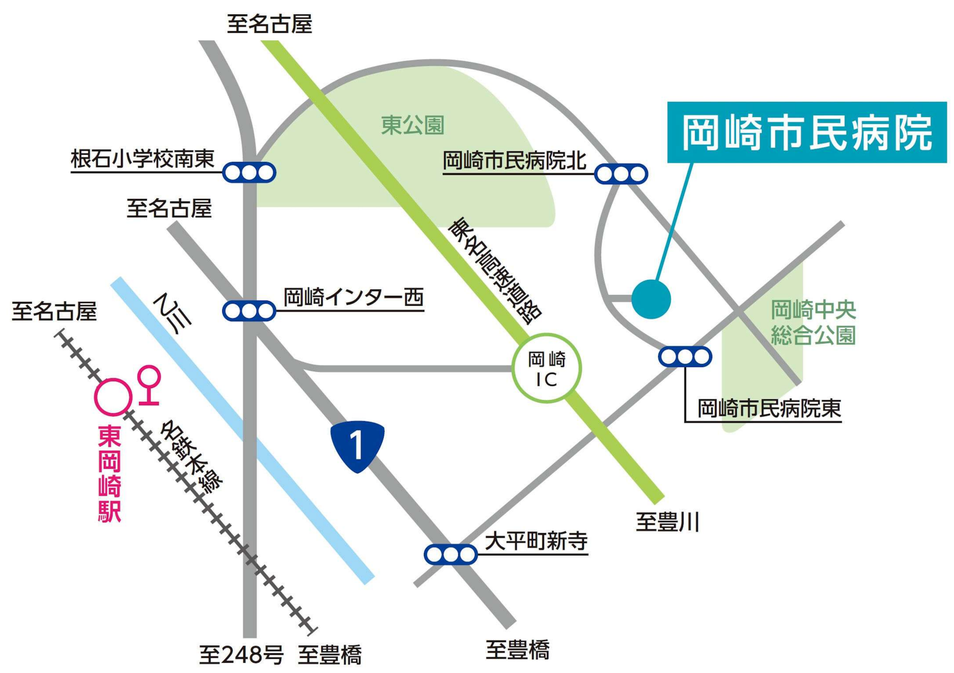
診療科目
内科　血液内科　内分泌・糖尿病内科　腎臓内科　脳神経内科　呼吸器内科　消化器内科　循環器内科　腫瘍内科　緩和ケア内科
心療精神科　小児科　脳神経小児科　新生児小児科　感染症小児科　外科　内分泌外科　乳腺外科　消化器外科　内視鏡外科
整形外科　腫瘍整形外科　形成外科　脳神経外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科
眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　放射線診断科　放射線治療科　歯科口腔外科　麻酔科　救急科
臨床検査科　病理診断科

機関指定
労災保険指定病院　救急告示病院　生活保護指定病院　更生医療指定病院　育成医療指定病院　養育医療指定病院
結核予防法指定病院　性病予防法指定病院　臨床研修指定病院　地域中核災害拠点病院　エイズ拠点病院
地域医療支援病院　病院機能評価認定病院　救命救急士等に対する救急医療臨床教育実施施設　保険医療機関
児童福祉施設（助産施設）　臓器移植提供施設　第三次救急医療機関　愛知DMAT指定医療機関　被爆者一般疾病医療機関
地域周産期母子医療センター　がん診療連携拠点病院　へき地医療拠点病院　がんゲノム医療連携病院　特定行為看護師指定研修機関

専門的診療部門
- 認知症疾患医療センター
- がんセンター
- 緩和ケアセンター
- 血液浄化センター
- ゲノム医療センター
- 小児総合センター
- 集中治療センター
- 循環器センター
- 摂食嚥下栄養サポートセンター
- 糖尿病センター
- 肥満症治療センター
- 内視鏡センター
- 脳卒中センター
- 手術センター
- 腹腔鏡手術・減量手術センター
- ロボット支援手術センター

岡崎市民病院
Okazaki City Hospital

〒444-8553　岡崎市高隆寺町字五所合3番地1
代表電話:0564-21-8111　FAX:0564-25-2913



アクセス

名鉄「東岡崎駅」から名鉄バス「市民病院」又は「中央総合公園」行き乗車
詳細はホームページをご確認ください。

ホームページ
https://www.okazakihospital.jp/

Instagram

YouTube

X